

プラスチック製容器包装 (週1回収集)

市では、「容器包装リサイクル法」に基づき、商品を入れたもの（容器）や包んだもの（包装）をリサイクルの対象としています。プラスチック製であっても、おもちゃやバケツ、ストローなどの「商品」は、法律の対象外のため、家庭ごみとして収集します。

プラスチック製容器包装指定袋に入れて口を縛ってください



分別の対象となるもの

カップ・パック類、チューブ類、ふた、ペットボトルのラベル、ボトル、錠剤などの薬の容器包装、トレー、袋・ラップ（値札などのシールは剥がさなくてよい）、発泡スチロールなどの容器や緩衝材

分別の対象外のもの（家庭ごみへ）

おもちゃやバケツ、CD・DVD、ジッパー式の密封容器、ストロー、クリーニングのハンガー、ライター



中身は使い切って、汚れは古布で拭くか、軽くすすぎます



レジ袋等を内袋にする際は、内袋の口を縛らないでください

◆口を縛った内袋を入れると、リサイクル施設で中身の確認のために袋を破く手間が掛かります

◆ストローなど、商品そのものがプラスチック製の場合は、家庭ごみへ。ストローの袋は容器包装です



家庭ごみ (週2回収集)

資源となる紙類、缶・びん・ペットボトル等、プラスチック製容器包装以外は家庭ごみです。燃やせるごみ、燃やせないごみの区別はありません。

家庭ごみ指定袋に入れて口を縛ってください



30cmを超えるものは粗大ごみで出してください



生ごみは水気を切って、ごみ減量にご協力ください



捨てる前にちょっと待って！ もっとできるリサイクル

- ①衣類・布類…地域の集団資源回収または市民センターなどにある資源回収庫へ
- ②小型の家電製品…区役所や一部の店舗等にある回収ボックスへ
- ③食用油…マークのある店舗の回収ボックスへ

粗大ごみの出し方

粗大ごみは、一番長い部分が30センチメートルを超え、重さが100キログラム以下のものです。

- ①申し込み
収集指定日の1カ月前から2日前までに、粗大ごみ受付センター ☎716・5301（平日午前9時～午後5時）に電話で申し込み
- ②手数料を払う
センターがお知らせした金額分の納付券を購入（市内のコンビニエンスストアなどで購入可）。粗大ごみに貼る
- ③ごみを出す
センターがお知らせした収集日当日の、早朝から午前8時半までに自宅前に出す（共用住宅の場合は共用の出入り口付近など）



資源とごみの分け方・出し方チラシを参考に

ごみの分別について、詳しくは3月に各家庭に配布したチラシ（左写真）や、ホームページ「ワケルネット」<http://www.wakuru100.com/>をご覧ください。

この特集に関するお問い合わせは、ごみ減量推進課 ☎214・8230

ごみ分別ルールを確認しよう

震災後、「家庭ごみ」への「資源物」の混入が急激に増えています。あらためて、仙台市のごみ分別ルールを確認し、「資源物」の分別・リサイクルにご協力をお願いします。



ワケルくん

ごみは、収集日当日の、早朝から午前8時半までに決められた集積所に出してください

紙類 (月2回収集)

五つの種類ごとに分別し、ひもで十文字にしっかり縛ってください(ビニールひも可)



- ①新聞・折り込みチラシ
- ②段ボール（粘着テープは剥がす）
- ③紙パック（軽く洗い、開いて乾かす）
- ④雑誌
- ⑤雑がみ（紙袋に入れるか、大きめの紙に包んで縛る）

分別（雑がみ）の対象となるもの

食品・ティッシュペーパー等の紙箱、封筒、トイレットペーパーやラップの芯、チラシ、包装紙、カレンダー

分別の対象外のもの（家庭ごみへ）

紙コップ等の防水加工された紙、ビニールでコーティングされた紙、線香の箱など匂いのついた紙、レシートなどの感熱紙、写真プリント用紙、汚れた紙



段ボールの留め具、雑誌のホチキスの針はそのまま回収できます



雑がみは、普段から紙袋に入れるようにしておくと、そのまま出せて便利です

◆端がとじられているものは雑誌、とじられていないものは雑がみです

◆縛る際、粘着テープは使用しないでください

◆ビニール袋や箱には入れないでください

◆回収後は水や薬品で溶かすので、雨天でも出せます

缶・びん・ペットボトル等 (週1回収集)

ごみ集積所の黄色の回収容器の中へ、全部まとめて直接入れてください



ペットボトルはふたとラベルを除いて、軽くすすいでつぶします



スプレーやカセットボンベの缶等は、中身を空にし、屋外など火の気のない所で穴を開けます



袋に入れず、種類関係なくまとめて入れます

◆金属製の缶類はつぶさない

◆ガラスびんはふたをはずす ※いずれも軽くすすいで

◆以下の物も出せます

①鍋やフライパンなどの金属製品（ステンレス・ホーローを含む。30cmを超えたら粗大ごみ）

②蛍光灯（買ったときのケースまたは新聞紙で包んで、回収容器の脇に置く）

③乾電池（透明な袋に入れる）